

『創業500 再生 への道のり 有余年』



総本家

駿河屋



今から550年以上昔の室町時代中期、現在の京都伏見で、初代・岡本善右衛門が饅頭屋「鶴屋」を開いたのが、総本家駿河屋のはじまりです。江戸時代には、徳川頼宣公に伴い和歌山入りして以来約300年間、紀州徳川家の御用菓子司として菓子を作り続けた総本家駿河屋は、和歌山の和菓子文化の中心を担ってきました。地域の顔の一つとして愛されつつ、時代は流れ…。民事再生法申請から事業停止へ、そこからどのように再建したきたのでしょうか。

今回のよろず支援拠点 presents 経営セミナーは、

株式会社 総本家駿河屋

代表取締役 岡本 良太 氏

をお招きしてご講演いただきます。

<プロフィール>

- 1974年 京都府伏見区生まれ
総本家駿河屋の創業家21代目
- 1996年 大阪学院大学卒業
- 1996年 ムラテック販売株式会社入社
- 2003年 旧駿河屋入社
- 2014年 総本家駿河屋 社長就任
- 2015年 伏見店、駿河屋町本舗を再開

日時

2020年 **2月21日(金)**
13:30 ~ 15:30

会場

ホテルアバローム紀の国
2階鳳凰の間 (和歌山市港通丁北二丁目1-2)

講師

株式会社総本家駿河屋
代表取締役 岡本 良太 氏

参加費

無料

定員

100名



お申込みは裏面をご参照ください ➡

主催 (公財)わかやま産業振興財団「和歌山県よろず支援拠点」

後援 中小機構近畿本部・和歌山県・和歌山県経営者協会・紀陽銀行・きのくに信用金庫